

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名：一般国道 289号 田島バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：福島県	
起終点：自：福島県南会津郡田島町大字塩江 至：福島県南会津郡田島町大字田島		延長：2.2 km	
事業概要 国道289号は新潟県新潟市を起点とし、福島県いわき市に至る延長役260kmの主要な幹線道路であり、広域的な連携・交流を促す重要な路線である。田島バイパスは、田島町内の交通混雑の解消を図ることを目的とした、延長2.2kmの4車線道路である。			
H7年度事業化	H6年度都市計画決定 (H 年度変更)	H7年度用地着手	
		H7年度工事着手	
全体事業費	約33億円	事業進捗率	
		50%	
計画交通量	10,910台/日	供用済延長	
		1.1 km	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.8 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) / 36億円 事業費 / 33億円 維持管理費 / 2億円	総便益 (残事業)/(事業全体) / 63億円 走行時間短縮便益 / 60億円 走行費用減少便益 / 3億円 交通事故減少便益 / 0億円
		基準年 平成16年	
事業の効果等 ・都市の再生（田島町中心市街地の交通混雑が解消される） ・国土・地域ネットワークの構築（会津地域、南会津地域の連携が強化される） 他3項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 国道289号は、地域交流の促進に重要な役割を果たすことが期待されており、田島町をはじめとする3町4村の首長および議長で構成される会津総合開発協議会南会津地方部会より早期整備の要望（平成16年8月6日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成11年度に他路線が改良され、計画路線の起点側1.6kmの機能が確保された。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 これまでに、用地買収が45%進捗し、主要構造物である御蔵入大橋が完成し、1.1kmを供用している。残る延長1.1km区間については、改良工事を実施している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成20年度までに用地買収が終了する予定であり、大門橋及び前後区間の改良工事を促進し、平成25年度供用を予定している。			
施設の構造や工法の変更等 耐候性鋼材を橋梁に採用し、ライフサイクルコストを図る。再生路盤材等の利用を積極的に進め、コスト縮減を図っている。			
対応方針	見直し継続		
対応方針決定の理由	平成11年度に他路線が改良され、計画路線の起点側1.6kmの機能が確保されたため。		
事業概要図			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。